

凸版印刷、フェルメールを360度鑑賞できる絵画鑑賞システムを特別公開

絵画を三次元空間として体験できる、絵画鑑賞システム「ViewPaint」で
『フェルメール《牛乳を注ぐ女》』を印刷博物館で11月13日(火)から特別公開

凸版印刷株式会社(本社:東京都千代田区、代表取締役社長:金子眞吾、以下 凸版印刷)は、画家ヨハネス・フェルメールの作品「牛乳を注ぐ女」を鑑賞者が絵画の中をのぞき込むようなインタラクティブ体験ができる、絵画鑑賞システム「ViewPaint (ビューペイント) (※1)フェルメール《牛乳を注ぐ女》」を印刷博物館(所在地:東京都文京区、館長:樺山紘一)にて2018年11月13日(火)から2019年3月31日(日)まで期間限定で特別公開します。

絵画鑑賞システム「ViewPaint フェルメール《牛乳を注ぐ女》」は、デジタルアーカイブデータの表現手法として凸版印刷が2013年3月に独自のVR技術を活用し制作した絵画鑑賞システムです。本システムは、目白大学の小林頼子教授の監修のもと、当時の博物資料や研究資料を活用し文物の色や形を再現。透視図法(※2)の読み解きやCGシミュレーションに基づき、三次元空間を構築し、あたかも絵画の中に入り込んだようにインタラクティブに鑑賞ができます。また、コントローラーでの操作が可能で、絵画では描かれていない《牛乳を注ぐ女》の背中側や頭上からの視点で作品を鑑賞することができます。



「ViewPaint フェルメール《牛乳を注ぐ女》」

製作・著作:凸版印刷株式会社 監修:小林頼子(目白大学教授)

Original photo data (Het melkmeisje [The Milkmaid] by Johannes Vermeer):©Rijksmuseum Amsterdam.

Purchased with the support of the Vereniging Rembrandt.

■ 絵画鑑賞システム「ViewPaint フェルメール《牛乳を注ぐ女》」について

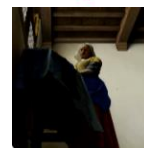
1. 完全に三次元空間化された《牛乳を注ぐ女》の世界

透視図法の読み解きと、タイルやテーブルといった現存する17世紀オランダの博物資料をもとにCGシミュレーションを行い、フェルメールのアトリエが舞台とされる《牛乳を注ぐ女》が描かれた場所にいるかのような3次元空間を凸版印刷独自のVR技術で表現しています。



2. 額縁越しに描かれた世界をのぞき込むようなインタラクティブ体験

3次元空間化された絵画は、装置の前に立った鑑賞者がコントローラーを操作することで任意の場所をCG映像表示します。これにより、鑑賞者はまるで額縁越しに描かれた世界をのぞき込むようなインタラクティブ体験ができます。



3. どの角度からみてもフェルメールのタッチはそのままに

独自のリアルタイムCG表現プログラムの開発により、コントローラーで現実の絵画では描かれていない角度に絵画を動かしても、モニターには常にフェルメールが描いた絵画のようなタッチでCG映像が表示されます。

コントローラーの操作によって、後ろや上からなどさまざまな角度から鑑賞することができます。

■ 「ViewPaint フェルメール《牛乳を注ぐ女》」特別展示について

展示期間	2018年11月13日(火)～2019年3月31日(日)
場所	印刷博物館 (東京都文京区水道1-3-3)
開館時間	10:00～18:00(入場は17:30まで)
休館日	毎週月曜日(ただし12月24日、1月14日は開館)、 12月25日(火)、12月29日(土)～1月3日(木)、1月15日(火) 1月22日(火)～1月27日(日)
入場料	2018年11月13日(火)～2019年1月20日(日) 一般800円、学生500円、中高生300円、小学生以下無料 2019年1月29日(火)～2019年3月31日(日) 一般300円、学生200円、中高生100円、小学生以下無料 ※20名以上の団体は各50円引き ※65歳以上の方は無料 ※身体障害者手帳等お持ちの方とその付き添いの方は無料

詳細はWebサイトをご覧ください。<https://www.printing-museum.org/>

■ 凸版印刷のVRへの取り組み

凸版印刷は、1997年から文化財のデジタルアーカイブデータの公開手法としてVR技術を用いた「トッパンVR」の開発に取り組んでいます。これまでに、国内外の貴重な文化財などをテーマとしたVR作品を多数製作しています。2007年には、いち早く4K超高精細VRの開発・公開を行い、近年では12KVRやHMDなど次世代VRの開発に取り組んでいます。

また、VR作品の公開の場としてVRシアターの導入を進めており、海外では中国・故宮博物院やホンジュラス共和国博物館にVRシアターを開設。国内では東京国立博物館内の「TNM & TOPPAN ミュージアムシアター」で文化財ナビゲータによるVR作品のライブ上演を行っているなど、国内外22か所の文化施設、観光施設へ展開しています。

URL:<http://www.toppan-vr/bunka>

※1「ViewPaint」

絵画のデジタルアーカイブデータを基に、作家特有のタッチを損なうことなく 3DCG 化し、絵画に描かれた空間を再現してディスプレイに表示します。コントローラーの操作に合わせて CG 映像をリアルタイムで生成・表示します。そのため、絵画に描かれたモチーフをまるで絵画の中に入り込んだかのようにインタラクティブに鑑賞できます。

※2 透視図法

ある一点を視点として、物体を人間の目に映るのと同様に遠くのを小さく、近くのを大きく描く図法。

- * 本ニュースリリースに記載された商品・サービス名は各社の商標または登録商標です。
- * 本ニュースリリースに記載された内容は発表日現在のものです。その後予告なしに変更されることがあります。

以 上